

# ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(4月～6月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
THE COSMOS FULL OF LIFE おおぐま座こぐま座神話 こぐま座のティオ 星空だいぼうけん ほしのおはなし(星空解説)	おとめ座物語 妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい! 星空解説	4D2U 地球と月の誕生 宇宙の旅人 ～Voyagers of space～ 星空解説 ※6/10(土)「星空音楽館」、6/17(土)「星空ステージ」は別内容となります。

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

## 観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、  
高校生以上1名無料

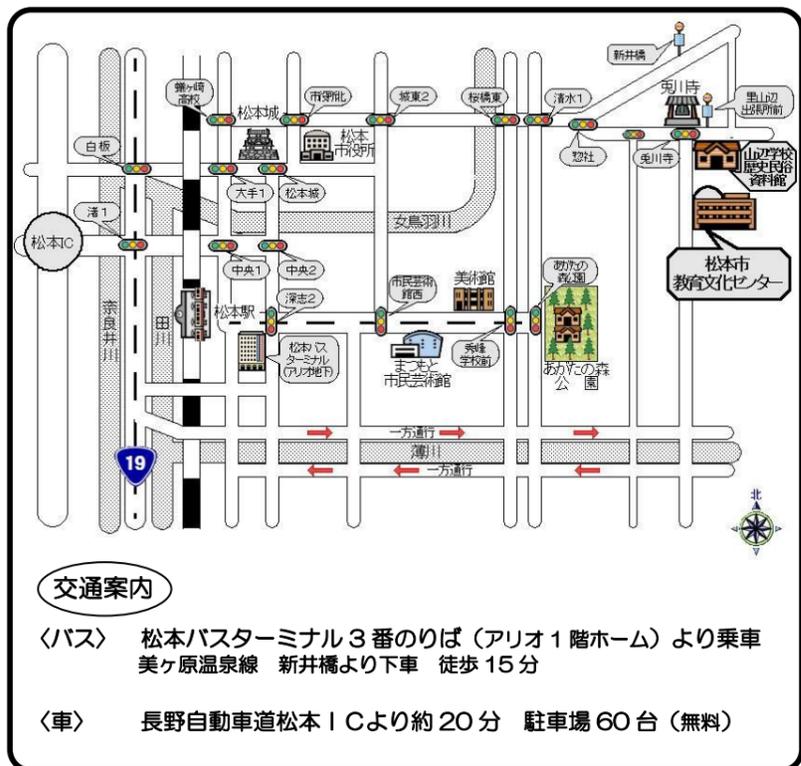
☆転入世帯優待券1枚につき、  
1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、  
本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

## アクセス



## 松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1  
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604  
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

## 星空クイズ!(春の神話編)

人喰いライオンやヒュドラを倒した  
勇者の名前は?

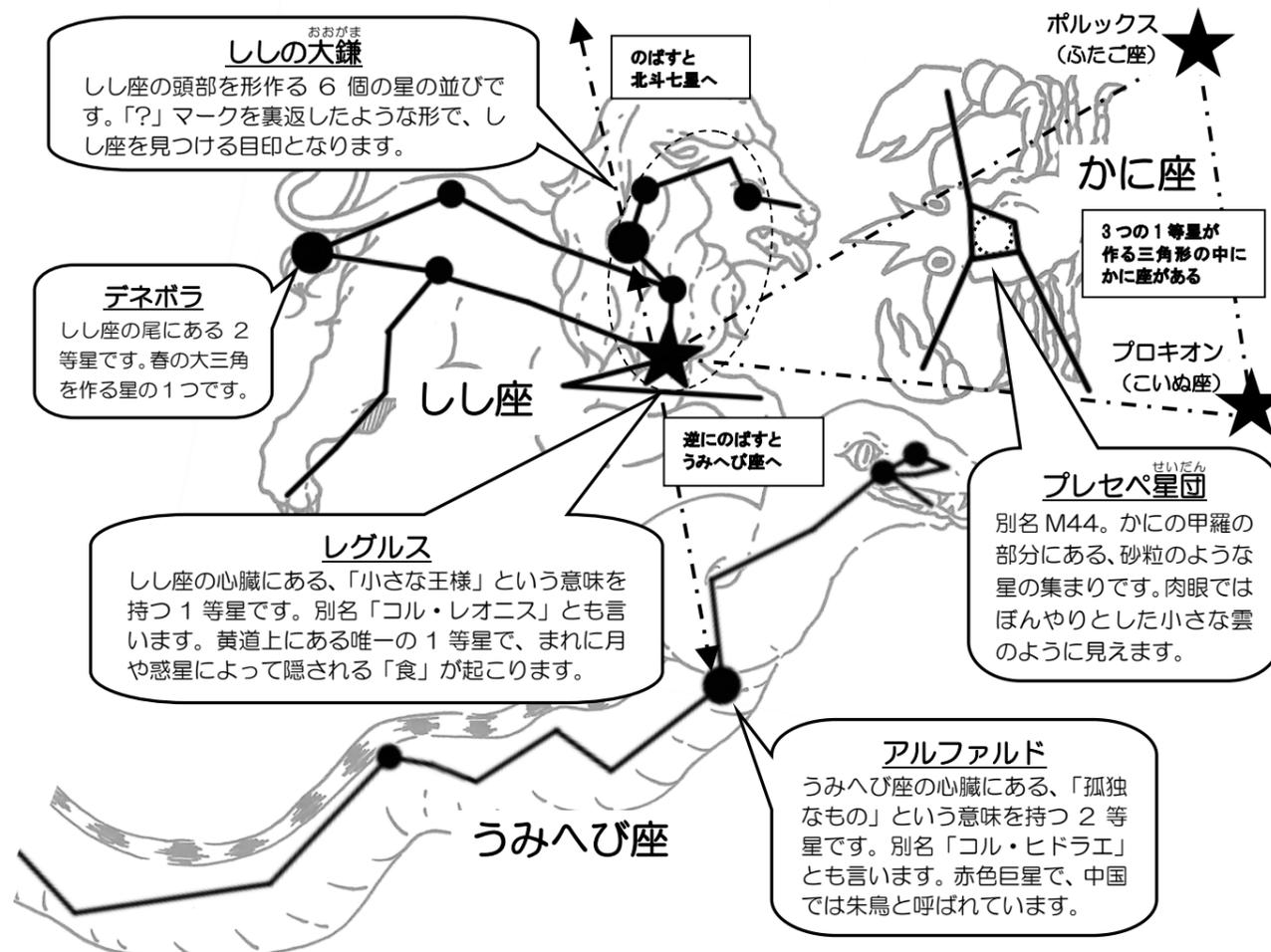
- ①ヘラクレス ②ペルセウス  
③オリオン ④ディオスクロイ

# ほしみる

No.48 2017.5.27

## 夏来たる 夜空の獅子を 惜しみつつ

夏の星座が上りはじめる時季となりました。春の星座は追い立てられるように少しずつ西へと向かっていきますが、夏の訪れに抵抗するように夜空に留まる星座たちがあります。

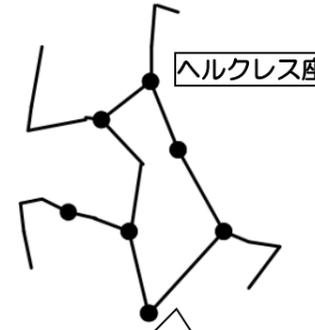


## 春の獣と夏の勇者

しし座、かに座、うみへび座は、いずれも勇者ヘラクレスに退治される怪物がモデルとなっています。ヘラクレスは自分を憎む女神ヘラの呪いによって、妻子を殺してしまいます。その償いとして、とてつもなく危険な12の冒険に立ち向かうこととなりました。その冒険のうち、「ネメアの森のライオン退治」がしし座、「レルネーの沼のヒュドラ退治」がうみへび座の物語です。

「ネメアの森のライオン退治」は、人喰いライオンをその剛腕で退治するお話です。ヘラクレスはこのライオンの皮を剥いていつも肩にかけたそうです。「レルネーの沼のヒュドラ退治」では、9つの頭を持つ水蛇(ヒュドラ)を、首を次々に切り落として退治しました。この時、ヒュドラに加勢しようとして逆にヘラクレスに踏みつぶされた巨大な化けガニがかに座です。いずれも倒されたものの、ヘラクレスを苦戦させた手柄により星座に上げられたとされています。

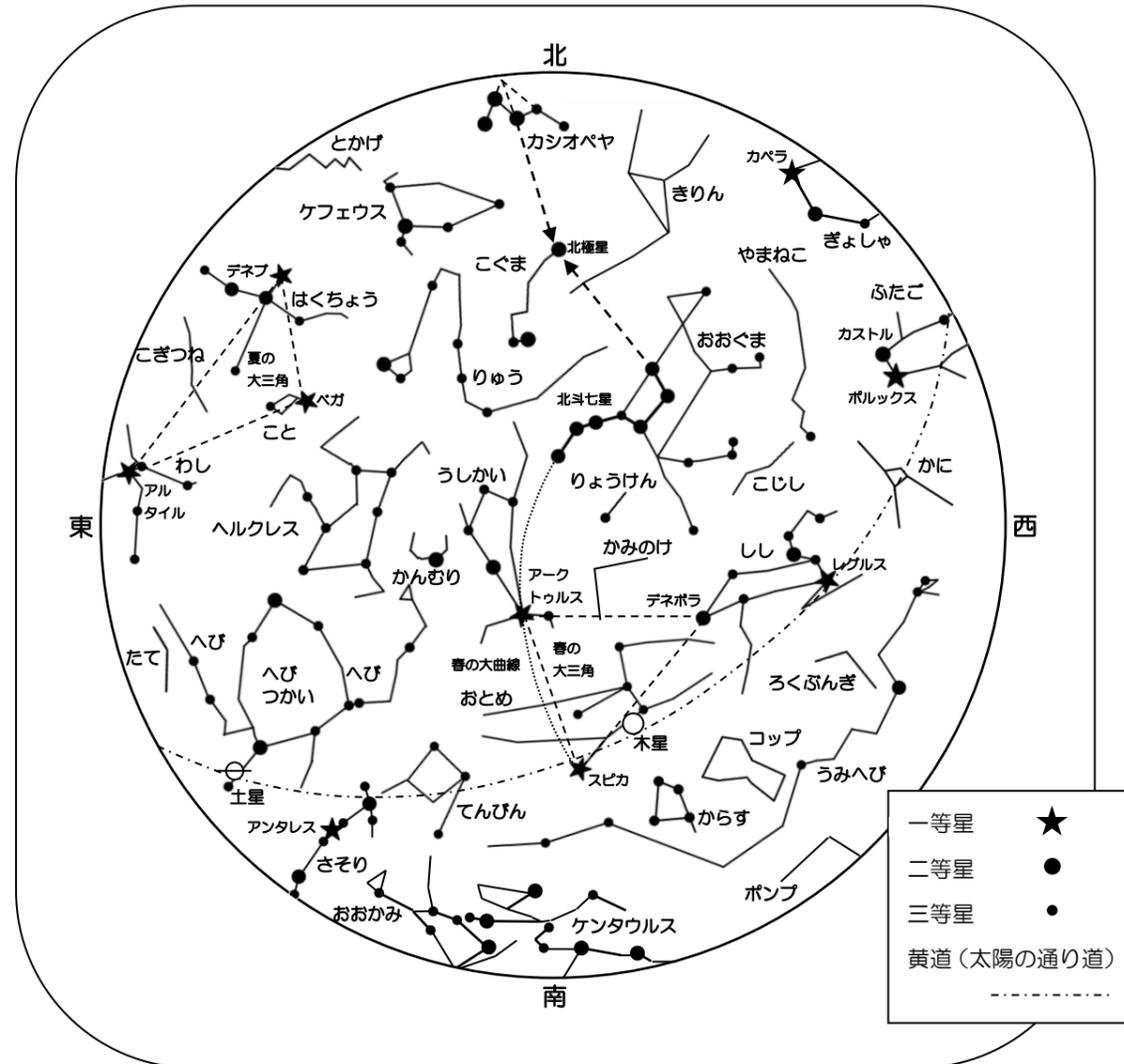
ヘラクレスが夏の星座として現れるため、これらの怪物たちは逃げるように先行して春の夜空に出現するのだとされています。



「ヘラクレス」はギリシャ語の読み方です。星座名はラテン語読みなので「ヘルクレス座」となります。

# 季節の星空

6月15日20時頃の松本の星空



## 6月の主な天文情報

- 3(土) 金星が西方最大離角(明け方)
- 4(日) 月と木星が接近(日没後～真夜中)
- 9(金) 満月(2017年最小の満月)、月と土星が接近(20時頃～10日明け方)
- 12(月) ジョンソン彗星が近日点を通る
- 15(木) 土星がへびつかい座で衝(一晩中)
- 21(水) 夏至、細い月と金星が接近(明け方)
- 24(土) 新月

西方最大離角→地球から見て、内惑星が太陽から西へ最も離れて見える角度。地上からは、日の出直前の東の空で惑星がよく見えます。

近日点(太陽に最も近づく地点)に近づくと、彗星は明るくなります。うしかい座付近で6.5等級程度の明るさで観測できます。

衝→外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中観測でき、大きく明るく見えます。

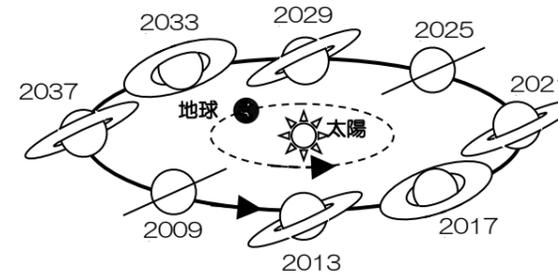
## ☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 6/3(土) ☆太陽観測 9:00~10:15  
天体望遠鏡を使って、太陽のプロミネンスや黒点を観測します。専用のフィルターを使用し、安全に観測できます。  
(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧くださいませ。)  
受付開始:5/27(土) 8:30~  
定員:15人(小学生以上。小学生の方は保護者同伴)
- 6/10(土) ☆星空音楽館 15:00~  
プラネタリウムで星空を見ながら音楽を鑑賞しましょう。  
今回は初夏の曲が中心です。申し込み不要。当日先着90人
- 6/17(土) ☆星空ステージ 15:00~  
フルート奏者の桂聰子さんによる生演奏を、プラネタリウムの星空の下でお楽しみいただきます。申し込み不要。当日先着90人
- 7/1(土) ☆天体望遠鏡操作技術講習 18:00~21:00  
教文センター屋上に設置されている、天体観測室と大型天体望遠鏡の扱い方についての講習です。  
受付開始:6/24(土) 8:30~  
定員:5人(高校生以上で、普通の望遠鏡の操作に慣れている方。  
高校生は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

## 神秘の輪を持つ惑星・土星

地球から見た土星の傾きの変化



4月の木星に続き、6月15日に土星が衝となり、南西の木星に対して南東の空で明るい姿を観察できます。土星は現在へびつかい座付近にあります。おとめ座にある木星とはやや離れていますが、これから年々近づいていき、2020年ごろには2つの明るい惑星が寄り添います。

土星は、木星と同様ガス惑星で、惑星を取り巻く大きな輪が最大の特徴です。輪の幅は地球の約5個分の長さです。一見すると1枚の薄い円盤のように見えますが、実際には氷や石の粒が数珠のように連なった細い輪が、1000本以上集まっています。年により輪の傾きが異なり、今年は傾きが最大となるので、輪の縞模様がよく観察できます。

土星には60個以上の衛星があり、そのうちタイタンは太陽系で2番目に大きな衛星で、エンケラドゥスは地下に液体の水を持ち、生命を育む環境である可能性があります。